

重伝建選定10周年記念

湯浅伝建地区 餅つき大会

12月17日(土) 13時00分～
於 北の町老人憩の家



重伝建選定10周年を伝建地区の住民みなでお祝いすべく、北の町老人憩の家で「餅つき大会」を開催します。昨年の年末に開催した餅つき大会はとても好評で、今回はさらに多くの皆様にご参加いただいて、より盛大に行いたいと思います。ぜひ、お気軽にお越しください!!

【その他の関連イベント】 (重伝建10周年実行委員会)

《湯浅伝建地区 パネル展》

期間：12月10日～18日

場所：北の町老人憩の家・岡正等

18日は式典会場にも展示します
伝建地区の修理等事業の紹介、古写真等で伝建地区のこれまでを振り返ります。

《まちなみ300円市》

期間：12月10日～18日

場所：湯浅町内 28店舗

後援：湯浅町商工会、湯浅町観光協会
伝建地区内外の店舗で300円の商品を期間限定で販売。

来訪者の声より ～湯浅まちなみ交流館～



2016.4.10

京都から自転車で来ました。温かいお茶をありがとうございました。優しく招き頂いてとても嬉しかったです!!

2016.8.7

ドイツから帰ってまいりました。(実家は京都です)素晴らしい文化をずっと守り続けてください。ありがとうございました。ドイツ人にも話したいと思います。

2016.9.3

奈良から来ました。湯浅に嫁いだ友人を訪ねて来ましたが、とっても素敵なあたたかい町で、友人としても安心しました!

2016.3.27

千葉県茂原市から来ました。しょう油のにおいの立ちこめる町並の美しさにほれました。

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思ひます。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

楠山 吉雄
半邊 宗五
妻木 良三
道津 節子

まちなみ瓦版

■平成28年12月 1日

■第30号

■発行：湯浅伝建地区保存協議会

■発行責任者：木下 智之



重要伝統的建造物群保存地区

選定10周年 記念式典

平成18年12月19日、醤油醸造で栄えた北町、北濱町、北中町、北鍛冶町の町並みが、全国で初めて醤油の醸造町として、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。それから、年に5件程度のペースで建物の修理・修景が進み、「甚風呂」や「岡正」「まちなみ交流館」といった施設も整備されて、町並みの表情が明るくなってきました。伝建地区を訪れる観光客は、県外、ときには海外からも来られ、訪れた方々は口々に「懐かしい感じがする」、「町の人が温かい」といった感想を残してくれています。

開催日時：平成28年12月18日(日)

午後1時30分～午後4時

場所：湯浅町総合センター

2階 大ホール

内容(予定)：13:00 受付開始
13:30 開会
13:50 功労者表彰
14:10 基調講演
垣内 貞 教育長
15:00 リレートーク
16:00 閉会
主催(共催)：湯浅町、湯浅町教育委員会
重伝建10周年実行委員会
後援：湯浅伝建地区保存協議会

重伝建の選定から10周年を迎えることを記念して、12月18日(日)に、総合センターにおいて記念式典が開催されます。町並み保存や歴史をいかしたまちづくりに携わってきた様々な立場の方々が、これまでを振り返り、これからの展望を考える『リレートーク』を中心に、改めて湯浅町湯浅伝建地区を考える式典です。どなたでもご参加できますので、ぜひ多くの方々にご来場いただき、みんなで一緒に10周年をお祝いしましょう!

前日(17日(土))には、記念餅つき大会を開催します。詳しくは4ページをご覧ください。



平成19年10月 選定記念式典



選定のころの湯浅の風景



まちの話 ゆあさオータムフェス 大盛り上がり！！

10月22日（土）、23日（日）の2日間、伝建地区内を会場にした「ゆあさオータムフェス」が開催されました。今年は、重伝建10周年実行委員会が主催となって、「観る」「聴く」「体験する」の様々なイベントが催されました。22日（土）は、あいにくの天候でしたが、23日（日）は、何とか大きく天気が崩れることもなく、湯浅湾漁協周辺で行われた「紀州湯浅のギョギョっとお魚まつり」とあわせて楽しんでいただく来訪者も多く、昨年同様に開催した「まちなみ音楽会」を大きく上回る賑わいでした。



北の町憩の家前の様子



◀◀ 甚風呂東庭で行われた野点のお茶会は、その雰囲気も相まって大好評。

◀ まえぐらでは、北原慎二さんの水彩画展の中で、わかやま楽落会による落語が披露されました。

➡ 岡正で開催された Maiko さんによるキャンドルアートの体験は子どもたちも夢中。

➡➡ 着付け体験で和装をした海外からのツアー客も、写真教室・撮影会のモデルとなってフェスを満喫。



◀◀ 北の町憩の家では、シルクスクリーン版画作家の木下珠奈さんの版画展。

◀ 北町ふれあいギャラリーでは書道家・田村剛さんの書画展。

訪れた方々は、芸術の秋にふさわしい展示に見入っていました。



➡ 耐久高校マンドリン部によるマンドリン演奏会

➡➡ 糸竹会による琴を中心とした邦楽演奏会

本勝寺にて開催された2つの演奏会は、辺りをやわらかい音色で包みました。



報告 甚風呂旧借家棟（旧場野家）の整備・活用について

施設運営部会と和歌山県建築士会が協議しました

町が保有し、これまで整備されていない甚風呂北隣にある建物（旧場野家）について、平成29年度に整備工事にかかるべく、その使用方法等を、設計業務の委託を受けている和歌山県建築士会とともに考えていく、ということは前号でもお知らせしたとおりです。

9月22日（木）、保存協議会の役員と施設運営部会、北中町区長、和歌山県建築士会、町役場が集まって、建物の具体的な利用方針と、それに伴う設計への要望について打ち合わせを行いました。

■現在の甚風呂の補完施設として使用。

■1階は展示スペースとして利用。部屋境をなくして土間にし、展示ケースを置いて保存協議会の保有する展示物を公開する場所にする。

■2階は主に展示物のための保管場所に。

■現在の台所部分は撤去、便所部分は道路（小路）に面している壁の外観を維持したまま、物置として利用できるようにする。水まわりは整備しない。

■隣の甚風呂とは、それぞれ独立した建物として整備する。スタッフの行き来は裏の庭部分でできるようにしてもらう。



ヘリテージマネージャー養成講習会 in 湯浅



11月19日（土）、和歌山県建築士会による第4期ヘリテージマネージャー講習会が行われ、湯浅の空き家の活用方法について実践的に検討する演習をしました。和歌山県建築士会に委託している旧場野家の設計は、このヘリテージマネージャーの講習を修了した建築士さんが取り組んでくれています。

【解説】ヘリテージマネージャー（地域歴史文化遺産保全活用推進員）とは歴史的に価値のある建物を保存活用する手法を学んだ建築士等のことです。

火の用心



冬は、風が強い日が多くなり、空気も乾燥しがちのため、火災が発生しやすい季節です。改めて、火災報知機や消火器等を確認する、調理の後などの火の後始末を忘れない、ストーブなどの近くに燃えやすいものを置かない、といった火災を起こさない習慣を身につけましょう！

